

年末の紅白歌合戦で中島みゆきさんの「地上の星」を聴いて、胸が熱くなった人も多りののではないかと思います。この「地上の星」と「ヘヴライト・テルは NHK の「プロジェクトX 挑戦者たち」のためにはゆきゆき作詞・作曲されたものの方です。その経緯をNHKの今井プロデューサーの講演した記録をまとめた記事を友人が送って来たので読んでみました。感動する内容でした。是非多くの方に読んでほしいと思います。目次・決算書に添付しました。少々長いですが必ず読んで下さい。

プロジェクトX はご存知の方も多いと思いますが、なぜこれだけの人の支持を得たのかという間に、今井プロデューサーは、「これはどこにでもいる普通の人がその物語だ」と、「その人が不可能と言われたことに挑戦する」「数多くの困難を乗り越えて最後のやり遂げる」。このことが皆に共感されるのではないかと。

人というものは試練とか苦勞が好きなのではないでしょうか。試練に打ち勝つことにおいて、人は感動するのではないのでしょうか。人が成長するためには、多くの試練を乗り越える体験が必要なのではないのでしょうか。

今日のテーマは「経営者の夢」です。経営者の夢を形にしたものが経営計画書です。経営計画のなかで多くの目標に挑戦し、一度や二度の失敗は乗り越え、やがて目標も達成し、社員全員で達成感を楽しむ。会社の中に「感動するドラマのかたち」をつくるのです。一人一人がヒーローになれる会社にするのです。そのために経営計画書のなかで、できる限りチーム別、個人別に目標を設定するのです。そして目標を達成したとき、みんなぬきぶつてあげるのです。魂のぶつてあげます。家族お長い期間と一緒に過ごしているのが社員です。従業員満足こそ会社の使命ではないのでしょうか。お金は大事ですが、お金ではありません。プロジェクトXの男達を見ればわかります。

世の中は今年も厳しいと言われているようですが、今こそ不可能と言われたことに挑戦し、目標達成のために努力し、試練を乗り越え、目標を達成しました。これが従業員満足ではないのでしょうか。

次に商売で儲けることで気づいたことがあります。成長している会社、利益の出ている会社は、競争相手が少ないか、弱いということです。マネーゲームといふ経営のシミュレーションゲームで勝つ極意があります。6人のメンバーでやるのですが、他の5人が弱ければ一人勝ちです。この市場がと楽です。私は会社事務所業界は「のほほん」としている市場なので一人勝ちが出来ると信じています。競争相手が強い場合には勝てないか、勝つためには苦勞するので、その市場ではやめなさい。そして、競争相手が少ないところか、いつでも自分の得意技で戦える市場で勝負する。これは戦略です。戦略とは、方向性ですが、具体的に言うと、順番です。目標に優先順位をつけ、自分が勝てる市場を探し、勝てる商品で勝負することです。何でもやることや(品揃え)価格競争の市場ではばかり戦っているか、規模を追求するのは、戦略のない会社で社員が疲れるだけで儲けません。

今年もみんながイキイキと働いている。社員がこの会社を働いていけることにプライドを持っている。こんな夢を実現したいですね。 古田 浩